

日本学術会議・経済学委員会
第 24 期・第 4 回議事要旨

開催日時： 2019 年 4 月 25 日（木）、12:15-13:15

場所： 日本学術会議事務局 5-B 会議室（5 階）

出席者（敬称略）：北村（委員長）、溝端（副委員長）、永瀬（幹事）、黒崎（幹事）、西條（出席者数 5 名）

（1） 前回議事録要旨の確認

（2） 各分科会からの報告

IEA 分科会、フューチャー・デザイン分科会、ワーク・ライフ・バランス研究分科会、数量的経済・政策分析分科会、国際開発研究分科会の活動状況について、参加委員より報告があった。今年度の予算運用に関して、第一部会での方針に沿って各分科会に配分すること、調整が必要になった場合には委員長に連絡することが確認された。執行方法のガイドラインは別途、各会員に送付する。

（3） 統計問題に関する提言について

委員長から、第一部会の経済学委員会、社会学委員会、政治学委員会が中心となって統計問題に関する提言の作成を進めることの説明と、経済学委員会メンバーには、統計利用者という立場からも、そのドラフトにインプットいただきたいとの要請がなされた。

（4） マスタープラン 2020 への申請について

社会科学データベースのアーカイブ化を進めることをねらいとした経済学委員会、社会学委員会、政治学委員会との合同のマスタープランを申請した。

（5） その他

・本委員会と日本経済学会(JEA)との連携を強化することが必要なことを確認した。IEA との連携という点でもこれは重要である。

・CSTI 有識者議員懇談会から基礎研究力強化に向けた検討に係る日本学術会議へのアンケートに対して経済学委員会からも回答が求められた。これに関しては委員長がとりまとめて提出することとする。

・第 25 期に向けて分科会の継続性や会員・連携会員の年齢・地域・男女構成などに配慮した人選が必要になること、また経済学委員会に積極的に貢献してくれる人材の確保が必須であることも考慮して、人選の準備を始めてほしいという要望が委員長からあった。

以上